

2026年5月21日 第554号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

総がかり行動実行委員会19日行動

## NO WAR！憲法変えるな！

憲法共同センターも参加する総がかり行動実行委員会は5月19日、国会前で「NO WAR！憲法変えるな！5・19国会正門前大行動」を行いました。1万人が集まり、「憲法を守れ」「戦争反対」と声を上げました。



長崎で被爆し、両親と弟3人を原爆で亡くした森田富美子さん(96、左)、娘・森田京子さん(右)。X(旧ツイッター)のアカウント「わたくし96歳」もご参照ください。

### ■「国家情報局設立法案」を批判、明るく前を向いて「ノー」を叫ぼう

社民党のラスサール石井参議院議員は、国会で審議が始まった「国家情報局設置法案」について、「要するにスパイ防止法案であり、3つに分けて少しずつ通そうとする与党側の作戦だ」と厳しく批判しました。国会質疑の場で野党議員に「スパイ」という野次が飛んだ問題を挙げ、「優秀な外国のスパイが捕まるわけではなく、政府を批判する我々日本人の声を抑えつけるためのものだ」と法案の危険性を訴えました。立憲民主党の小西ひろゆき参議院議員は、「資源を持たず海峡閉鎖の影響を大きく受ける日本にとって、人々の生存権にも関わる問題であるにもかかわらず、総理は答弁から逃げ続けている」と指摘し、政府が進める緊急事態条項や9条の改憲案に対し、「市民の皆様と共に立憲主義の論戦の力で徹底的に粉碎する」と決意を語りました。

## ■「島を戦場にするな」住民置き去りの全島避難計画に反対を訴える

沖縄県宮古島から駆けつけた石嶺香織さんは、国会前の大勢の参加者を前に、島での孤独な活動を思い出し涙を流しながらマイクを握りました。石嶺さんは、台湾有事を前提に島民12万人を九州や山口に避難させる「全島避難計画」が具体的に進んでいる現状を報告。手荷物1つの制限や避難後の就労支援まで決められている一方で、「住民の気持ちは置き去りにされている」と訴えました。「有事の前に避難させるのは、戦争をするのに住民が邪魔だからだ。生活を根こそぎ奪われることは戦争以上に恐ろしい」と話し、避難に従うことは戦争協力に等しいと主張しました。最後に、独自の言葉や文化が残る島を守りたいという切実な願いを語り、宮古島の古い民謡を披露して、権力者に憲法を守らせることの重要性を訴えました。



世界をあちこちで戦争・紛争が続き、終わが見えない中、日本でもさらなる火種がまき散らされています。高市内閣は、2026年2月の衆議院選挙で得た「数の力」にたのんで、前のめりに戦争の準備に突きすすんでいます。防衛費はGDP比約2%とこれまでの2倍になり、そのための増税も進んでいます。沖縄や南西諸島をはじめとして日本全国の自衛隊基地で、ミサイルの配備などの増強が行われています。これは、周辺国との緊張をあり、戦争の危険をむしろ高めるものとして、基地のある地域や周辺国から心配の声があがっています。日本も明治以降、戦争ばかりしてきました。第二次世界大戦でアジアの人びとを2000万人以上殺し、日本人を約310万人死なせました。更なる軍備増強は、周辺国に日本の再軍備化への警戒心を植え付けて緊張を高めるだけです。私たちは、過去の戦争の反省の上に、戦争を放棄して軍隊を持たないとした憲法9条が、今こそ大切だと考えます。「唯一の戦争被爆国」である日本は、すべての戦争がなくなるように世界に対して働きかけるべきです。そのためには憲法9条を堅持して、戦争をなくすための努力をするべきです。しかし、政府からは核武装を唱える声が増え、国会では、憲法を変えるための衆文起草委員会を憲法審査会に設置する動きが始まっています。私たちは、戦争につながる憲法9条への自衛隊明記、そして政府に権力を集中させて、人権保障と権力分立を停止させる緊急事態条項の導入に反対して、以下の項目を要求します。

### ◆今後の19日行動◆

6月19日（金）18：30～国会正門前

7月19日（日）15：30～国会正門前

※7月は通常と時間が異なります。

※6月19日は「署名提出」をします。

お手元にある大軍拡反対請願署名を憲法共同センターまでお寄せください。

大軍拡反対請願署名は以下のタイトルです。

『税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名（略称：大軍拡反対請願署名）』

現在取り組んでいる「9条署名」→  
下記よりダウンロードして  
ご活用ください



<https://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2026/04/20260401.pdf>

内閣総理大臣 菅  
衆議院議長 野  
参議院議長 野

2026年 月 日

### 私たちは戦争につながる憲法改悪に反対します — 憲法9条改悪に反対する請願署名 —

世界をあちこちで戦争・紛争が続き、終わが見えない中、日本でもさらなる火種がまき散らされています。高市内閣は、2026年2月の衆議院選挙で得た「数の力」にたのんで、前のめりに戦争の準備に突きすすんでいます。防衛費はGDP比約2%とこれまでの2倍になり、そのための増税も進んでいます。沖縄や南西諸島をはじめとして日本全国の自衛隊基地で、ミサイルの配備などの増強が行われています。これは、周辺国との緊張をあり、戦争の危険をむしろ高めるものとして、基地のある地域や周辺国から心配の声があがっています。

日本も明治以降、戦争ばかりしてきました。第二次世界大戦でアジアの人びとを2000万人以上殺し、日本人を約310万人死なせました。更なる軍備増強は、周辺国に日本の再軍備化への警戒心を植え付けて緊張を高めるだけです。私たちは、過去の戦争の反省の上に、戦争を放棄して軍隊を持たないとした憲法9条が、今こそ大切だと考えます。「唯一の戦争被爆国」である日本は、すべての戦争がなくなるように世界に対して働きかけるべきです。そのためには憲法9条を堅持して、戦争をなくすための努力をするべきです。しかし、政府からは核武装を唱える声が増え、国会では、憲法を変えるための衆文起草委員会を憲法審査会に設置する動きが始まっています。私たちは、戦争につながる憲法9条への自衛隊明記、そして政府に権力を集中させて、人権保障と権力分立を停止させる緊急事態条項の導入に反対して、以下の項目を要求します。

- 請願事項
1. 戦争準備の憲法9条改悪と、緊急事態条項を導入する改悪をやめること
  2. 衆参の憲法審査会に改憲案の起草委員会を設置しないこと

| 氏名 | 住所   |
|----|------|
|    | 都道府県 |
|    | 都道府県 |
|    | 都道府県 |
|    | 都道府県 |
|    | 都道府県 |

※いただいた署名は宛先への連絡・開示には使用しません。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合  
改憲問題対策法律家6団体連絡会  
9条改悪NO！全国市民アクション  
9条の会  
憲法9条を守ろう！実行委員会  
戦争する国づくりストップ！憲法を守り、いかに共同センター

【9条の会】  
TEL: 03-3221-5075 メール: mail@9jounoikai.jp  
〒101-8005 東京都千代田区南船場2-5-7 南田中央ビル303  
連  
【憲法9条を守る市民実行委員会】  
TEL: 03-3221-4468 メール: kenpo@galaxy.ocn.ne.jp  
〒101-8005 東京都千代田区南船場3-3-3 本館ビル402 市民ネット内  
先  
【戦争する国づくりストップ！憲法を守り、いかに共同センター】  
TEL: 03-5842-5611 メール: move@enfiren.gr.jp  
〒113-8622 東京都文京区湯島2-4-44 労働会館4F

<取り扱い団体>